

ミス三重



ミス兵庫



ミス三重の着物は休館日を利用して陰干し。ミス三重・ミス兵庫ともに博物館のスタッフと記念撮影。ミス兵庫は実に26年ぶりの再会となった

日米親善人形交流 95年
「ミス三重」訪問を終えて
2022年9月17日~23日

青木 勝 Aoki Masaru
(株式会社吉徳顧問)



新聞「リンカーン・ジャーナル・スター」
2022年9月21日付

ミス三重の着物は休館日を利用して陰干し。ミス三重・ミス兵庫ともに博物館のスタッフと記念撮影。ミス兵庫は実に26年ぶりの再会となった

ネ
ブラスカ大学州立博物館の
招聘をお受けして、答礼人
形「ミス三重」の点検及び着付け
直しのために、ネブラスカ州リン
カーンを訪問しました。
「ミス三重」は1988年「ミ
ス日本」を代表とする19体の答礼
人形の一人として初めて里帰りを
しました。私にとっても昭和2年
にアメリカに渡った答礼人形たち
との本格的な関わりの始まりでし
た。「ミス三重」の二度目の里帰
りは、三重県内の有志による「里
帰りを實現させる会」の熱狂的な
活動により、2009年修復前の
県内4か所、そして2010年修
復後の11か所で盛大な歓迎展示会
が開催されました。
各所で展示準備のための彼女の
点検及び着付け直しの際に、ご婦
人方の着付けのアドバイスをいた
だきながら実戦で身に付けたもの
です。
修復と治療は、当時答礼人形製
作の人形師の一人である松乾齋東
光・岩村人形工房が、株式会社吉
徳の専属病院として代々施術を続
けています。私は多くの答礼人形

の修復作業に関わりながら、答礼
人形の仕組みや上塗り胡粉など素
材を習得しました。
「ミス三重」は2017年に三
重県総合博物館で『人形大使「ミ
ス三重」90周年里帰り展』、そし
て本年2022年にはネブラスカ
大学州立博物館で『95周年展』が
開催されました。彼女を取り巻く
日米両国の多くの皆さんによる活
動には驚くばかりです。
休館日を利用して、点検と治療及
び着付け直しを終えた彼女に凜と
した気品を感じたのは私だけでは
ありません。幸運にもセントジョ
セフ博物館の「ミス兵庫」の訪問
も叶い、彼女との26年ぶりの再会
を果たし、点検と着付け直しをす
ることができました。
物言わぬ親善大使として、小さ
な肩に大きな
使命を背負い、
これからも日
米両国の友好
の架け橋を続
けてほしいと
願っています。

